The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 祝辭 |
| Author(s) | 永田, 仁助 |
| Citation | 懐徳. 1924, 1, p. 3-3 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/88682 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# 祝辭

懷德堂記念會理事長　永田仁助口述

不肖曩に誤つて懷德堂記念會の理事長に推され、爾來及ばずながら努力をして居りますが、何分にも世事の係累多端でありまして、甚だ失禮な申分ながら片手間に出來るだけの事をして居るのでありまして、專心一意會の爲に力を盡す事が出來ない事は常に遺憾に存じて居る次第であります。然るにも拘らず本會の事業が年々進展を致しまして、風教文化の上に貢献しつゝある事は、一に事に當られる諸先生の御高義と御熱誠による事と窃に感謝の念禁ずる能はざると同時に、私自身に取りては欣快至極に存ずる次第であります。今回曾て本堂に聽講せられた諸君、並に現在聽講せらるゝ諸君が相約して堂友會を組織せられた事は、又誠に欣賀の至りに堪へませぬ。一体儒教と云ひ漢學と云へば、當世の人は多くは見向きもせず時代錯誤と云ひ做して土芥視するものでありますが、私は之に反して極めて此の教を崇び、此の學を好む者であります。私は此の教此の學問は深く人性に根底し斯の世を理想化するもので、決して天は此の教此の學を亡ぼさないものと固く信じて居る者であります。今此の教此の學問によりて德性を涵養せらるゝ諸君によりて組織せらるゝ會であれば、此の會の前途や大に望を囑すべきものがあることゝ信じます。此の會は懷德堂と云へる樹の上に咲き綻べる一輪の花にも譬へつべきか、此の花が如何なる果實を結ぶかは一に繫つて諸君の双肩にある事と信じます。何うか此の教此の學問によつて益々修養せられ、此の會をして立派な美果を熟せしめられん事を切に望む次第であります。聊か感ずる所を述べて祝辭に代へます。